

2004年3月12日

各位

三井化学株式会社

中国における高純度テレフタル酸の投資認可申請書提出について

当社（社長：中西宏幸）は、コア事業である高純度テレフタル酸（PTA）事業の拡大を目指し、中国に生産拠点を確立すべく、建設予定地である江蘇省張家港保税区内にPTA製造・販売会社設立に関わる投資認可申請書を、昨日（3月11日）提出しました。

< 認可申請書の概要 >

会社名：三井化学（張家港）有限公司

出資形態：三井化学100%

所在地：江蘇省張家港

事業内容：PTAの製造・販売

設備能力：60万トン/年（三井化学技術）

当社は、新中期経営計画（04年度～07年度）において、機能性材料分野の拡大・成長とともに、石化・基礎化分野の収益力強化を基本戦略の一つとしており、PTAを中心とするアロマチェーンについては、その収益力強化のため、アジアの最適な拠点での能力増強を事業戦略の一つとして位置付けておりました。

PTAは、ポリエステル繊維、ペットボトル等の原料としてアジアでの需要が拡大しており、1998年には1200万tであった需要が2003年には800万t増の2000万t（年率平均11%成長）にまで達しています。特に需要拡大が目ざましく、今後も伸長が期待される中国市場における更なる需要獲得の為に、中国現地に生産拠点を構築することが必要との判断から、この度投資認可申請書の提出を行ったものであります。

当社のPTA事業は、現在、アジアで第2位の生産能力・シェアを有しており、日本・タイ・インドネシアに生産拠点をもち、アジア全域で事業を展開しています。また、タイにおけるサイアムグループとの合弁であるサイアムミツイPTA社（SMPC）に第3号機（2005年秋操業開始予定、50万t/y）を建設中で、今回の中国当局への投資認可申請はSMPC第3号機稼働後のPTA生産拠点拡充策と位置付けております。なお、建設予定地の張家港市には、PTA60万tクラスのプラント3基が建設可能な50万㎡の土地を確保しております。

当社は今後とも、PTA・フェノールなどのアロマチェーンの収益力強化のため最適な拠点での能力増強を行い、コア事業として事業の拡大と強化を図っていく方針です。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 古賀義徳 03-6253-2100

三井化学グループのPTA生産能力

(千トン/年)

工場立地	プラント	稼動年	能力 (2004年3月現在)	能力 (2005年秋)	能力 (中国完成後)
岩国 <三井化学>	第1号機	1976年	190	190	190
	第2号機	1985年	160	160	160
	第3号機	1990年	400	400	400
インドネシア <アモコミツイPTAインドネシア>	第1号機	1997年	450	450	450
タイ <サイアムミツイPTA>	第1号機	1999年	450	450	450
	第2号機	2002年	450	450	450
	第3号機	2005年秋		500	500
中国(今回申請) <三井化学(張家港)有限公司>	第1号機				600
合計			2100	2600	3200

以上